

地域とお客さまの発展のために

企業理念体系の再定義および「パーパス」「なんぎんウェイ2023」「コーポレートメッセージ」の制定

2023年1月、当行および役職員の判断軸を共有して様々な変化に対応していくために、「企業理念体系」を再定義するとともに「パーパス」「なんぎんウェイ2023」「コーポレートメッセージ」を制定しました。

● 企業理念体系の再定義



● パーパス

“つながり”の強さで、地域の輝く未来をつくる

【コンセプト】

当行独自の強みである、地域・お客さま・役職員間の“つながり”、そして、WIN-WINネット業務における“つながり”により、地域とともに、持続可能で輝ける未来を創造していくことが私たちの存在意義を高める、という想いを込めたものです。

● なんぎんウェイ2023

「なんぎんウェイ」とは、日々の業務における一つひとつの判断にいたるまで、役職員が“インテグリティ(誠実)”の価値観をもとに、どのように行動すべきかの原理原則(行動指針)となります。

「なんぎんウェイ」を基本とすることで、企業の活動は一貫したものとなることに加えて、一人ひとりの役職員にとって、企業の成長と個人の成長を重ね合わせ、生きがいや働きがいに繋げていきます。

1. なんぎんは、揺るぎない信頼の確保に努めます
2. なんぎんは、質の高い金融サービスを提供します
3. なんぎんは、インテグリティに基づいた行動を実践します
4. なんぎんは、環境経営を推進し、地域社会の発展へ貢献します
5. なんぎんは、ステークホルダーとの対話・コミュニケーションの充実に努めます
6. なんぎんは、役職員の成長への努力を惜しみません
7. なんぎんは、生きがいや働きがいのある職場づくりに努めます
8. なんぎんは、反社会的勢力との関係遮断、テロ等の脅威への対応態勢を確立します

● コーポレートメッセージ

話せるところ 頼れるところ

【コンセプト】

南日本銀行の創業の理念である「相互扶助」のスピリットは脈々と引き継がれています。本コーポレートメッセージは、その培ってきた「相互扶助」のスピリットのもと、金融のことに限らず、何でも、一番に相談され、頼ってもらえるところ(店舗、人、デジタル)でありたいという想いを込めています。

また、そういった相談相手とされるプロ集団として、様々な個性を持った人材がそれぞれの能力を磨き、日々創意工夫しながら、その期待に応えていく、それが私たちの目指す“なんぎん”の姿であるとの決意も示しています。

《南日本銀行新ロゴデザイン》

話せるところ 頼れるところ

 南日本銀行

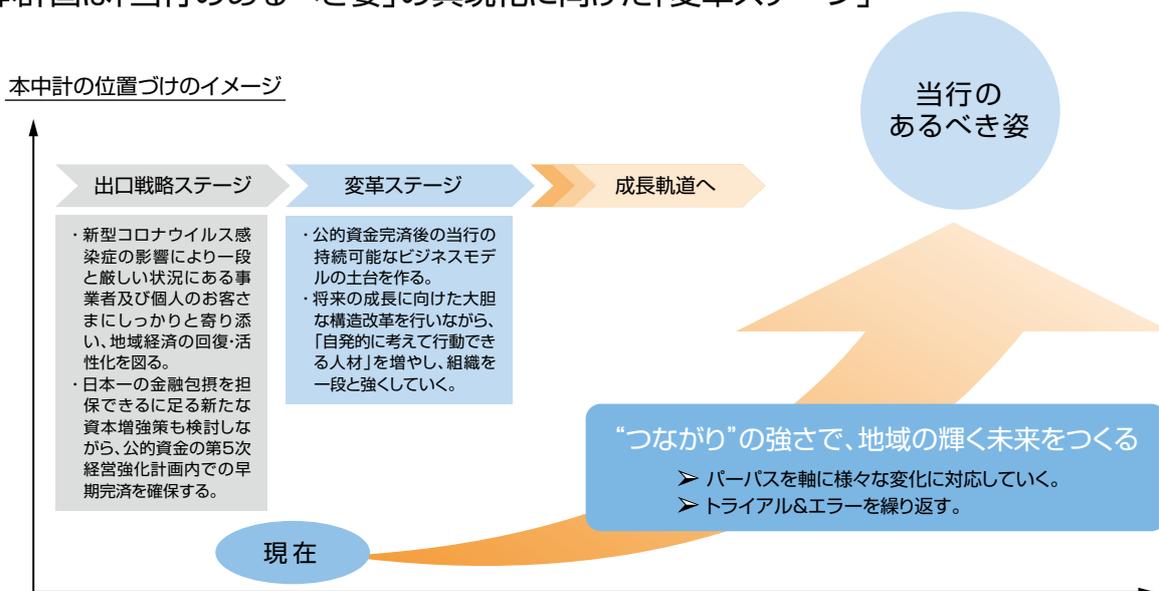
地域とお客さまの発展のために

第1次中期経営計画

当行は、公的資金の完済、第5次経営強化計画期間の終了を踏まえ、第1次中期経営計画を策定し、2023年4月からスタートさせています。本計画は、新たに制定したパーパスを基軸に大胆な構造改革を行いながら、「自発的に考えて行動できる人材」を増やし、組織を一段と強くしていく3年間と位置づけ、「中小規模事業者向け専門の金融機関としてのビジネスモデル構築」「経営戦略と人材戦略の融合による人的資本経営の実現」等の5つの重点戦略を掲げております。

本中期経営計画の位置づけ

本計画は「当行のあるべき姿」の具現化に向けた「変革ステージ」



本中期経営計画の概要

本計画では、取り巻く経営環境などを踏まえた重要課題に対し、重点戦略として以下の5項目を掲げ、「対話」と「インテグリティ」をドライバとした役職員参画型で取り組むことで、「当行のあるべき姿」の具現化を図ってまいります。

重要課題	公的資金完済後のビジネスモデル構築	人事・育成・評価制度の見直し
	当行としてのデジタルとリアルとの最適融合	収益・コスト構造改革
	マーケットインの発想の更なる浸透・深化	SDGs達成に向けた取組み支援

計画名称	第1次中期経営計画「インテグリティある組織への変革」		
計画期間	2023年4月～2026年3月(3年間)		
目指す姿	地域・お取引先の課題解決ニーズに応え、安定的な収益基盤を確保するとともに、当行の持続可能なビジネスモデルを一層進展させる。		
本計画の位置づけ・基本方針	2023年9月に創業110周年を迎えるにあたり、当行および役職員の判断軸を共有して様々な変化に対応していくために、パーパスを2023年1月に制定しました。次の創業120周年を見据えた変革ステージとして、制定したパーパスを基軸に、公的資金完済後の当行の持続可能な ビジネスモデルの土台作り や、将来の成長に向けた大胆な 構造改革 を行いながら、「 自発的に考えて行動できる人材 」を増やし、組織を一段と強くしていく3年間とします。		
重点戦略・基本戦略	重点戦略		基本戦略
	1	中小規模事業者向け専門の金融機関としてのビジネスモデル構築	事業者向け戦略 営業戦略
	2	経営戦略と人材戦略の融合による人的資本経営の実現	デジタル・事務戦略 SDGs・ESG戦略
	3	人事・育成・評価制度の見直し	人材戦略 事業者向け戦略 営業戦略
	4	組織改革・店舗戦略による重点分野への経営資源再配置	組織・店舗戦略 デジタル・事務戦略
5	業務改革によるコスト圧縮と適正投資	コスト構造改革戦略 デジタル・事務戦略	

地域とお客さまの発展のために

『鹿児島離島の魅力発見フェア～島の呼吸を感じてみませんか』

2022年11月15日～18日の4日間、鹿児島離島の魅力ある資産を県外へ発信することで、特産品の消費拡大や観光客誘致の促進、U・Iターン支援等に繋がることを目的に、博多駅構内の商業施設内において、『鹿児島離島の魅力発見フェア～島の呼吸を感じてみませんか』を開催しました。

本フェアは、特産品を販売する事業者だけでなく、自治体や商工団体とも連携し、離島のPRと特産品の販売を同時に行うことで、九州の玄関口である博多駅を訪れる多くの方に鹿児島離島の魅力を発信することができました。

今後も、産官連携の支援を通じ、地域社会の繁栄および地域経済の活性化に繋がる取組みを積極的に行ってまいります。

【主催】南日本銀行 【後援】鹿児島県

【開催内容】自治体・商工団体における各離島のPR活動、当行取引先による特産品の販売

【対象離島】長島、種子島、屋久島、甬島

(1日目)11月15日(火)長島 (2日目)11月16日(水)種子島 (3日目)11月17日(木)屋久島 (4日目)11月18日(金)甬島

【場所】博多駅構内マイング広場特設会場 【参加者】事業者22社、自治体4先、商工団体5先



<長島>



<種子島>



<屋久島>



<甬島>

「かごしまSDGs推進パートナー」「鹿児島県SDGs登録事業者」への登録

2022年10月、鹿児島市が募集する「かごしまSDGs推進パートナー」に登録されました。「かごしまSDGs推進パートナー」は、地域課題の解決に向けた取組みなど、SDGsの更なる推進に取組む意欲がある企業や団体等を募集し、申請書類をもとに審査・登録される制度です。

また、2023年3月には、鹿児島県が創設した「鹿児島県SDGs登録制度」に応募し、登録されました。本制度は、SDGsに積極的な企業の取組み内容を「見える化」し、発信することで、当該企業の更なる取組みの促進と、他企業においても自発的な取組みが広がることを目的としています。

当行は、SDGsの達成に向けた取組みを推進することで、地域の皆さまとともに地域社会が抱える課題の解決と、持続可能な社会の実現に貢献できることを目指してまいります。



「株式会社なんぎんキャピタル」「なんぎん地域未来応援ファンド」の設立

2023年4月、当行100%出資による投資専門子会社「株式会社なんぎんキャピタル」を設立し、該社を無限責任組員、当行を有限責任組員とする投資事業有限責任組合「なんぎん地域未来応援ファンド」を設立しました。

当該ファンドは、地域経済に寄与する技術やサービスを有するスタートアップ企業等を支援することを目的としており、地域の将来を担う起業家の育成・支援や、地域のお客さまのライフステージに応じた投資など、鹿児島県経済への貢献に繋がる企業への投資を行ってまいります。

【会社の概要】

名称	株式会社なんぎんキャピタル
所在地	鹿児島市山下町1番1号(南日本銀行本店内)
事業内容	投資事業有限責任組合(ファンド)の組成・運営業務 経営コンサルティング業務 上記に付帯または関連する一切の業務
設立年月日	2023年4月3日
資本金	10百万円
株主	株式会社南日本銀行(保有比率100%)

【第1号ファンドの概要】

名称	なんぎん地域未来応援ファンド投資事業有限責任組合 (略称:なんぎん地域未来応援ファンド)
ファンド総額	5億円
設立日	2023年4月28日
有限責任組員	株式会社南日本銀行
無限責任組員	株式会社なんぎんキャピタル
投資対象	地元(鹿児島県)の創業・成長支援の対象となる株式未公開の企業。鹿児島県以外の企業については、原則、株式会社南日本銀行の営業管轄区域の企業を対象とする。
目的	創業・成長支援を必要とする企業(事業者)への投資を通じて、地域経済の回復・活性化に貢献していくことを目指す。
存続期間	10年間

東京支店および東京事務所の移転

2023年4月、東京支店および東京事務所を移転しました。

移転先の「東京鹿児島ビル」には、鹿児島銀行東京支店(3階)および東京事務所(7階)が入居しており、鹿児島県を主要な営業基盤とする金融機関が同じ建物内で営業することによって、両行にお取引のある企業や個人のお客さまの利便性が向上すること、並びに両行の効率的な業務運営の視点での連携が可能となることを企図したものです。



店名	東京支店および東京事務所
新住所	東京都中央区日本橋三丁目15番2号 東京鹿児島ビル2階
窓口営業時間	平日 9:00～15:00 ※ATMの設置はありません。



地域とお客さまの発展のために

● 主要な業務内容

預金業務 当座預金、普通預金、貯蓄預金、通知預金、定期預金、納税準備預金等を取り扱っております。

融資業務 手形貸付、証書貸付、当座貸越を取り扱っております。また、手形の割引(商業手形等の割引)を取り扱っております。

内国為替業務 送金為替、代金取立等を取り扱っております。

WIN-WINネット業務 中小規模事業者のお取引先に対して、新たな販路開拓や事業運営方法の改善を行っております。

証券業務 国債等公共債の売買業務を行っております。

附帯業務 損害保険及び生命保険の窓口販売などを行っております。

● 南日本銀行のあゆみ

- | | | | |
|---------------------|--|---|---|
| 1913 (大正 2)年 9月 | ●同仁貯金合資会社設立(創業)
●本店/鹿児島県始良郡東国分村(現霧島市国分広瀬) | 1991 (平成 3)年 1月 | ●テレビ広告開始 |
| 1936 (昭和11)年 4月 | ●鹿児島無尽株式会社に組織変更 | 1992 (平成 4)年 2月 | ●里村指定金融機関事務取扱開始 |
| 1937 (昭和12)年 5月 | ●鹿児島支店(現本店の旧館)新築落成 | 2月 | ●中間発行増資により資本金67億7千7百万円 |
| 1943 (昭和18)年 11月 | ●鹿児島無尽株式会社、鹿児島相互無尽株式会社合併設立 | 3月 | ●本店営業部全面改装 |
| 1951 (昭和26)年 3月 | ●資本金5,000万円 | 4月 | ●地元5行庫による店舗外現金自動設備の共同利用開始 |
| 10月 | ●相互銀行法施行に伴い、株式会社旭相互銀行に商号変更 | 5月 | ●第3次オンラインシステム稼動 |
| 1952 (昭和27)年 2月 | ●資本金1億円 | 1996 (平成 8)年 11月 | ●本店営業部・県庁出張所開設 |
| 3月 | ●定期積金取扱開始 | 1997 (平成 9)年 3月 | ●「なんぎん産学交流支援サービス」取扱開始 |
| 1953 (昭和28)年 11月 | ●内国為替取扱開始 | 1998 (平成10)年 4月 | ●「なんぎん懸賞付定期預金」発売 |
| 1958 (昭和33)年 10月 | ●旭相互銀行健康保険組合発足 | 12月 | ●本店の建物(県内初の登録有形文化財)に登録 |
| 1960 (昭和35)年 1月 | ●日本銀行と当座取引開始 | 1999 (平成11)年 3月 | ●郵便局とのATM(CD)相互利用開始 |
| 1962 (昭和37)年 12月 | ●日本銀行歳入代理店事務取扱開始 | 9月 | ●証券投資信託の窓口販売業務取扱開始 |
| ●旭ビルディング(株)設立 | 2000 (平成12)年 3月 | ●第三者割当増資により資本金91億1百万円 | |
| 1963 (昭和38)年 4月 | ●旭保養センター完成 | 2001 (平成13)年 4月 | ●損害保険商品窓口販売開始 |
| 9月 | ●創業50周年 | 2002 (平成14)年 10月 | ●生命保険窓口販売開始 |
| 1964 (昭和39)年 5月 | ●資本金6億円 | 11月 | ●ダイレクトローンセンター業務開始 |
| 8月 | ●資本金6億3,000万円 | 2003 (平成15)年 8月 | ●四半期情報開示開始 |
| 1967 (昭和42)年 12月 | ●本店増改築落成 | 2004 (平成16)年 6月 | ●執行役員制度導入 |
| 1973 (昭和48)年 3月 | ●資金量1,000億円突破 | 10月 | ●決済用普通預金取扱開始 |
| 6月 | ●行内報「あさひ」創刊 | 2006 (平成18)年 4月 | ●本店が「鹿児島市より「環境管理事務所」に認定 |
| 10月 | ●資本金10億円 | 2008 (平成20)年 10月 | ●なんぎん住宅ローンセンター開設 |
| 11月 | ●両替業務取扱開始 | 2009 (平成21)年 3月 | ●第三者割当方式によるA種優先株式150億円発行 |
| 1976 (昭和51)年 9月 | ●為替オンラインシステム稼動 | 5月 | ●資本金166億1百万円 |
| 12月 | ●資本金18億円 | 11月 | ●なんぎん個人相談プラザ開設 |
| 1977 (昭和52)年 3月 | ●資金量2,000億円突破 | 2010 (平成22)年 3月 | ●花棚支店開設(2010年3月移転オープン) |
| 8月 | ●第1次オンラインシステム稼動 | ●熊本支店(河原町支店及び熊本市場支店を統合後)熊本営業部へ昇格 | |
| 1979 (昭和54)年 2月 | ●全銀データ通信システム加盟 | 2011 (平成23)年 4月 | ●ミナミネット支店開設 |
| 1980 (昭和55)年 4月 | ●外国為替業務取扱開始 | 10月 | ●WIN-WINネット業務開始 |
| 5月 | ●「旭相互銀行史」発刊 | 2012 (平成24)年 5月 | ●種子島支店リニューアルオープン(新築移転) |
| 11月 | ●旭霧島荘オープン | 10月 | ●西谷山出張所開設(2013年4月移転オープン) |
| 1981 (昭和56)年 5月 | ●旭ボランティアサークル結成 | 11月 | ●with youプラザ開設 |
| 6月 | ●資金量3,000億円突破 | 2013 (平成25)年 8月 | ●イメージキャラクター「わっせかくん」決定 |
| ●相銀ワイドサービス(SCS)取扱開始 | 9月 | ●創業100周年 | |
| 1982 (昭和57)年 8月 | ●金の売買業務取扱開始 | ●上川内出張所開設(2014年2月移転オープン) | |
| 1983 (昭和58)年 4月 | ●国債窓口販売業務開始 | 2014 (平成26)年 4月 | ●伊集院支店リニューアルオープン(新築移転) |
| 10月 | ●資本金27億2千5百万円 | 9月 | ●西田支店オープン(城西支店と宮田通支店を統合) |
| ●「調査速報」発刊 | 2016 (平成28)年 3月 | ●笠之原支店リニューアルオープン(新築移転) | |
| 12月 | ●資金量4,000億円突破 | 10月 | ●紫原支店リニューアルオープン(新築移転) |
| 1984 (昭和59)年 3月 | ●南九州サービス(株)設立 | 2017 (平成29)年 5月 | ●上町支店リニューアルオープン(新築移転) |
| 5月 | ●「あさひワイドカード」取扱開始 | 9月 | ●東京支店リニューアルオープン |
| 10月 | ●相銀データ伝送システム(SDS)取扱開始 | 2019 (平成31)年 1月 | ●新勘定系システムの稼働開始 |
| 11月 | ●第2次オンラインシステム稼動 | 2019 (令和 元)年 8月 | ●福岡支店リニューアルオープン |
| 1985 (昭和60)年 3月 | ●MMC(市場金利連動型預金)発売開始 | 1月 | ●下鶴支店に昼時間休業導入 |
| 7月 | ●旭ファイナンス(株)設立(現 なんぎんリース(株)) | 2月 | ●安房支店を屋久島支店内に移転統合(店舗内店舗) |
| 12月 | ●自由金利型定期預金の取扱開始 | 3月 | ●宮崎支店リニューアルオープン(移転) |
| 1986 (昭和61)年 6月 | ●旭ビジネスサービス(株)設立 | 4月 | ●玉名支店を熊本営業部内に移転統合(店舗内店舗) |
| 1987 (昭和62)年 4月 | ●鹿児島ネットサービス(KNS)取扱開始 | 5月 | ●県庁支店に昼時間休業導入 |
| 6月 | ●公共債ディーリング業務取扱開始 | 12月 | ●吹上支店:喜入支店に昼時間休業導入 |
| 7月 | ●あさひニュービジネスクラブ(ANBC)設立 | 2021 (令和 3)年 1月 | ●「南日本銀行グループSDGs宣言」の制定 |
| 10月 | ●福岡証券取引所に株式上場 | 4月 | ●屋久島支店・安房支店・宮崎支店・福岡支店・小倉支店・
鹿児島支店・吉野支店・明和出張所に昼時間休業導入 |
| 11月 | ●旭相互銀行厚生年金基金設立 | 5月 | ●川辺支店・嶺姓支店・草牟田支店・玉里支店・星ヶ峯支店・
桜ヶ丘支店に昼時間休業導入 |
| 1988 (昭和63)年 4月 | ●外替オンラインシステム稼動 | 9月 | ●第三者割当方式によるB種優先株式85億円発行 |
| 6月 | ●公共債フルディーリング業務取扱開始 | ●資本金208億51百万円 | |
| 11月 | ●南日本銀行VI発表(シンボルマーク、ペットネーム「フレッシュバンク」を制定) | ●下鶴支店を鹿児島支店内に移転統合(店舗内店舗) | |
| 1989 (平成 元)年 2月 | ●海外コルレス業務取扱開始 | 10月 | ●明和出張所を西田支店内に移転統合(店舗内店舗) |
| ●普通銀行に転換、南日本銀行に商号変更 | 2022 (令和 4)年 9月 | 11月 | ●天文館支店を本店営業部内に移転統合(店舗内店舗) |
| ●(社)全国銀行協会へ加盟 | ●資本金133億51百万円 | ●A種優先株式150億円を取得・消却 | |
| ●下鶴村指定金融機関事務取扱開始 | 2023 (令和 5)年 1月 | ●企業理念体系の再定義および「バーパス」、「なんぎんウェイ2023」、「コーポレートメッセージ」の制定 | |
| ●東京支店、東京事務所開設 | 4月 | ●株式会社なんぎんキャピタル設立 | |
| ●資本金46億4千万円 | 5月 | ●東京支店リニューアルオープン(移転) | |
| 11月 | ●無償増資により資本金48億9千5百万円 | ●「TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言」への賛同を表明 | |
| 1990 (平成 2)年 3月 | ●アサヒエステート(株)設立 | ●第1次中期経営計画公表 | |
| 5月 | ●全国キャッシュサービス(MICS)に参加 | | |
| 8月 | ●南日本バンクカード(株)設立 | | |
| 12月 | ●イメージキャラクター「なんちゃん・ミミちゃん」決定 | | |
| ●サンデーバンキング実施 | | | |